



# 叡啓大学

世界に通じる「国際教養力」と  
社会課題を解決していく「実践力」を養成

本学は「自らが課題を発見し、解決策を立案し、他者と協働しながら実行することを通じて新たな社会価値を生み出すこと」を教育理念とし、世界で通じる国際教養力と社会課題を解決していく実践力を養成しています。

全学生が必修科目として履修するのが「課題解決演習」です。県内外の企業、自治体、NPO、国際機関などから実社会で起きているテーマをいただき、学生はグループに分かれて課題の特定方法や解決策の作り方を学びます。1年次は心がまえやスキルの基本を、2年次は与えられたテーマから課題は何かを特定。3年次は特定した課題に対し、解決策を考え、検証を行い、提案します。4年次は

「卒業プロジェクト」として、3年間で修得した手法を実際に応用し、自らが設定した課題に取り組みます。

たとえば演習では、「サラダで日本を元気にする」(キューピー株)、「Z世代のコーヒーへの接し方」(UCCコーヒープロフェツシヨナル株)といったテーマに取り組みました。学生の報告に対し企業側からは「思いもつかなかった」といった声を頂くこともあります。

## キャリアデザインオフィスを新設

本年「キャリアデザインオフィス」を開設しました。学生が在学中、卒業後もキャリアや働き方を考えられるよう支援します。一番の特徴は、学生が自分で考え、道を切り拓く力を育むことを目指したキャリアメンター制度です。多種多様な職種、働き方、活動をしている社会人の方々がメンターとなり、学生のキャリア設計に関する相談ののつってもらっています。



ソーシャルシステムデザイン学部  
キャリアデザインオフィス  
オフィスディレクター  
川瀬真紀 教授

米国ミネソタ大学、広島大学での教員を経て2022年4月より  
叡啓大学教授。